

# 大阪医科大学学報

第95号 平成25年2月  
(インターネット版)



水仙 (にほん水仙)

## ◆目

受賞等について	2
研究助成金等について	4
中山国際医学医療交流センター	5
学会報告	6
広域医療連携センター	7
看護実践研究センター	8
病院看護部	8
岩田投手小児病棟訪問	9
褥瘡対策室	10
医学会秋季学術講演会	11
学内行事	11
市民公開講座	14
寄付金報告	16

## 次◆

行事日程	18
主要会議報告	19
キャリア形成支援センター	23
メディカルトレーニングサポートセンター	23
大学安全対策室	24
医療安全対策室	25
感染対策室	26
緩和ケア研修会報告	27
保健管理室からのお知らせ	29
ひとつになりたいプロジェクト	31
俳句	33
イルミネーション点灯式	34

## 受賞等について

### 受賞等について

ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞 受賞  
眼科学教室 中泉 敦子 先生

日本ロレアルが日本ユネスコ国内委員会と共同で推進する「ロレアル-ユネスコ女性科学者 日本奨励賞」の2012年度の生命科学分野で本学眼科出向医の中泉敦子先生が受賞しました。同賞は、日本の若手女性科学者が研究活動を継続できるよう奨励することを目的とし、2005年11月、日本ロレアルが日本ユネスコ国内委員会との協力のもと創設し、今回で7回目を迎えました。物質科学、生物科学の女子大学院生を対象に各分野から2名、計4名が全国の候補者から厳選な審査のうえ選出されます。中泉先生が大学院在学中にアメリカシガン大学で取り組んでいた「糖尿病網膜症を初めとする網膜虚血性疾患と網膜毛細血管障害」についての研究が評価されて今回の受賞につながりました。<http://www.nihon-loreal.jp/corp/csr/csr001.php>

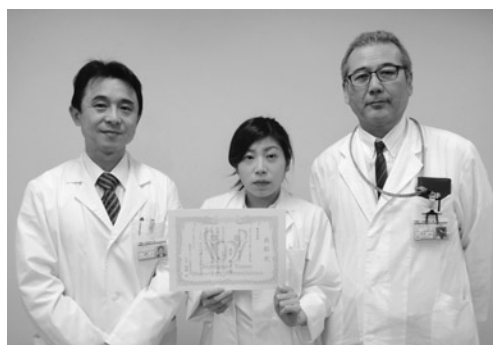


受賞者(右端：中泉先生)とフィギュアスケート選手藤美姫さん(中央)

関西がんチーム医療研究会 優秀演題賞 受賞  
口腔外科学教室 武井 祐子 先生

2012年9月8日、大阪科学技術センター（うつほ公園）で開催された、第11回関西がんチーム医療研究会にて優秀演題賞を受賞されました。

演題：「当科における口腔ケア活動状況」



平成24年度大阪医学 大阪府医師会会長賞  
最優秀論文 受賞  
衛生学・公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ 谷本 芳美 講師

この度、大阪府女医会の一員として、女医会の先生方と共同で行いました研究論文に対し、平成24年度大阪医学大阪府医師会会長賞 最優秀論文 を受賞致しました。受賞論文は女性開業医のキャリアアップ・維持支援活動に役立てるため、開業医の実態調査を行うことを目的とし、大阪府女医会所属の開業医144名（36歳～92歳）を対象に自記式質問紙調査を行ったものです。本研究結果より、女性開業医が出産や育児中に勤務を継続することには障害があり、保育に関する施設の充実や代診派遣制度などを勤務継続のために望む者が多いという実態が明らかとなりました。最近では女性医師のキャリアを支援する活動が活発化する中、このような名誉な賞をいただき感謝すると共に、今後もますます女性医師の勤務継続支援のための活動に励みたいと思います。



## 高槻市福祉衛生功労賞受賞

衛生学・公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ 渡辺 美鈴 講師

平成24年文化の日、高槻市から衛生学・公衆衛生学教室に対して、保健衛生の推進に功労のあった団体として「福祉衛生功労賞」を受賞しました。

本賞は、教室が取り組んできた平成元年のゴールドプラン作成に対する研究、最近の高槻市の地域住民を交えた介護予防研究や平成20年に始まった特定健診・特定保健指導の受診率向上を目指した保健衛生に関する研究などにに基づき各種審議会等で提言を行ってきたことが評価されたものと思われます。公衆衛生活動は健康寿命の延伸に向けた科学と技術であると言われています。科学的な根拠をもった技術を地域住民に提供できたことは本教室として名誉なことだと思っています。今後とも、地域住民とともに、公衆衛生活動に励みたいと考えています。

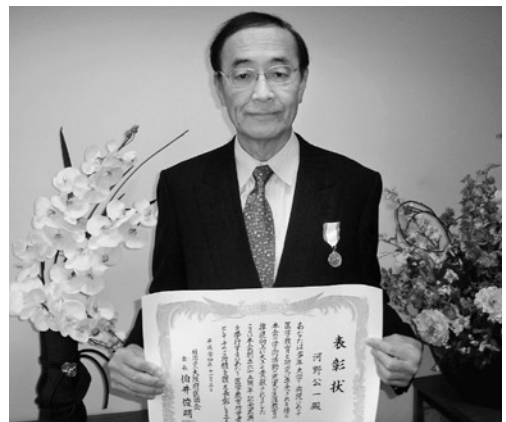


## 大阪府医師会医学教育功労賞受賞

衛生学・公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ 河野 公一 教授

この度、これまでの医学教育への貢献に対して大阪府医師会医学教育功労賞受賞を受賞しました。

今回の受賞は平成20年の大阪府医師会功労賞受賞に続いての受賞であり感慨もひとしおです。これらの受賞は本学、教室、医師会の諸先生方をはじめ関係各位のご指導、ご助力の賜物と感謝申し上げます。



## 第23回日本疫学会学術総会 優秀ポスター賞受賞

看護学部公衆衛生看護学領域 月野木ルミ 講師

平成25年1月24日～26日、大阪大学・吹田キャンパスにて開催された第23回日本疫学会学術総会で、講師が優秀ポスター賞を受賞しました。

(学会HP：<http://jeaweb.jp/soukai/no23/>)

演題名：「国民生活基礎調査匿名データによる単独世帯と内分泌代謝疾患通院との関連－匿名データの学術活用（第二報）－」



受賞者(右端：月野木先生)

## 受賞等について 研究助成金等について

### — 法人表彰 —

学校法人大阪医科大学は、法人人事務システム構築の連携統合及び診療科別収支の確立に中心的な役割を果たし法人の経営改善に多大なる貢献をされた 総合企画部情報課 濱田松治課長に、また、人事課長代理として労働環境・労働条件の改善に向けて多大なる貢献をされた総務部総務課 藤岡俊吾課長代理に対し、賞罰規程第2条（表彰）に基づき、平成25年1月15日（火）の理事会の席上にて理事長から表彰が行われました。



### 平成24年度 大阪医科大学附属病院診療等功績顕彰（藤田賞）の表彰

平成24年度の藤田賞の授賞が、化学療法センター・桑心門助教（准）に決定し、平成25年2月6日（水）の診療科長会にて授賞式が行われました。

この賞は、本院において診療並びに臨床教育に著しい功績のあった若手医師を顕彰するものです。

平成25年度の顕彰については、本年の秋頃に募集を予定しております。



### 研究助成金等について

#### ■平成24年度（第45回）精神薬療分野 一般研究助成金（公益財団法人 先進医薬研究振興財団）—

研究課題名	氏名（所属名・職名）	助成金額
修正型電気けいれん療法によるmRNA発現量の網羅的検討	米田 博（神経精神医学・教授）	100万円

#### ■研究助成金（シンセス株式会社）—

研究課題名	氏名（所属名・職名）	助成金額
外反母趾治療における内固定材料研究	奥田 龍三（整形外科学・診療准教授）	50万円

#### ■平成24年度大阪市イノベーション創出支援補助金（大阪市計画調整局企画振興部科学技術振興）—

研究課題名	氏名（所属名・職名）	助成金額
糖尿病診断や高齢者転倒予防に貢献する足底感覚検査システムの標準化、妥当性に関する研究	高橋 紀代 （リハビリテーション医学・助教）	26万円

#### ■平成24年度 研究助成金（財団法人 地域医学研究基金）—

研究課題名	氏名（所属名・職名）	助成金額
持続的低酸素曝露に伴う右室リモデリングにおけるVascular Endothelial Growth Factor の意義と重要性	禹 英喜 （胸部外科学・助教（准））	10万円

- 外部研究資金開発企画課から応募申請しました公募助成金等のうち、内定・採択を確認できたもの、及び研究者より直接内定・採択の情報提供のあったものを掲載しています。



## ■JICAインドホゲナカル上水道整備フッ素症対策カウンターパート研修について

衛生学・公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ 教授 河野 公一

平成24年9月24日から10月3日まで独立行政法人国際協力機構（JICA）が実施する平成24年度インド有償「フッ素症対策研修」コースの17人（インド人研修員9人と同行関係者8人）が中山国際医学医療交流センターを通じて来訪しました。

まず研修員は初日に歴史資料館3階での説明会に出席し、25日に病院見学と栄養部での講義を受けた後、26～28日まで口腔外科、リハビリ・整形外科、水質検査の3コースに分かれて大阪歯科大学附属病院、本学口腔外科、美濃歯科、高槻市立口腔保健センター、高槻病院、愛仁会リハビリテーション病院、本学リハビリテーション教室、関西労働衛生技術センター、大阪血清微生物研究所、本学衛生学・公衆衛生学教室、日本ダイオネクス(株)などで研修を行いました。次に10月1日、2日の合同研修では高槻市役所を表敬訪問したのち高槻市環境科学センターやウォータープラザ（大冠浄水場上水管理センター）、高槻市環境部（高槻クリーンセンター）、京都市上下水道局水道部蹴上浄水場、蹴上インクライン、南禅寺水路閣などで研修を行いました。

参加した研修員はインド南部でフッ素症が蔓延するクリシュナギリ・ダルマプリ地区にある政府系病院の医長、大学准教授、水質検査機関主任、臨床検査部長、土木技術部長などで、研修内容に熱心な関心を示し、研修最終日に行われたアクションプランの発表では今後の自国でのフッ素症対策へ向けた具体的な展望をまとめるなど有意義な研修となりました。

この度の研修に際し、ご指導いただいた、センター長・内科学Ⅰ花房教授、栄養課森本真佐子課長、



10月1日の合同研修初日 高槻市役所の表敬訪問で濱田市長(中央)らと

高槻病院副院長櫻篤先生、愛仁会リハビリテーション病院副院長住田幹夫先生、リハビリテーション教室佐浦教授、整形外科馬場講師、島原名誉教授、口腔科学教室植野教授、教育センター宮本准教授、美濃歯科美濃律先生、高槻市立口腔保健センター所長尾崎貞宣先生、関西労働衛生技術センターの皆様、大阪血清微生物研究所取締役荒木年夫様、日本ダイオネクス(株)の皆様、蹴上浄水場小田原興場長、濱田高槻市長はじめ高槻市の関係各位の皆様にご挨拶申し上げます。

## ■台北医学大学学生の本学研修について

中山国際医学医療交流センター長 花房 俊昭

平成24年10月29日から11月22日まで、台北医学大学の第7学年の学生4名（Wei-Kai Chuang君、Ting-En Tai君、Min-Hsiang Fan君、Jia-Yun Huangさん）が、相互交流協定に基づき、海外選択臨床実習の一環として本学附属病院、三島救命救急センターおよび北摂総合病院などで研修を受けました。

学生達は、予めリクエストのあった診療科を中心に配属され、研修期間中には時間外にも自発的にメディカルトレーニングサポートセンターで訓練を行うなど、きわめて意欲的に実習に取り組み、また本学学生との様々な交流会にも参加し、充実した4週間を過ごしました。

このたびの研修に際し、ご指導いただいた竹中校長、黒岩病院長をはじめ本学教職員各位、北摂総合病院の木野院長、三島救命救急センターの秋元所長およびスタッフの皆様、また終始エスコートしていただいた国際交流部を中心とした学生諸君に対し、あらためて心より御礼申し上げます。

## 第50回日本神経眼科学会を主催して

戸成 匡宏（眼科学教室 大学院生）

2012年11月16日から18日の3日間、京都テルサにおいて当教室の奥 英弘診療准教授が会長を務め、第50回日本神経眼科学会を主催いたしました。池田教授就任以来、教室が主催する学会は5つ目になります。今回は、第50回という記念すべき学会で、当教室が主催できることは非常に喜ばしいことであつたと思っております。京都の学会というと京都国際会館での開催が多いですが、京都テルサはJR京都駅から徒歩15分ほどの立地の良さで、建物も非常に綺麗でした。11月の京都は紅葉シーズン真っ只中であり多数の観光客で賑わう中での主催となりました。学会場も連日大変盛況で、500人を超えるご参加を頂くことができました。



奥学会長 開会の挨拶

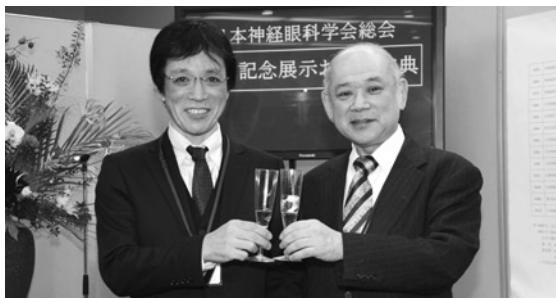


特別講演高橋良輔教授(左)と奥 英弘学会長(右)

初日は眼球運動についての一般口演の後に、特別講演として京都大学医学研究科臨床神経学教室の高橋良輔教授をお招きして、「パーキンソン病の分子病態」とのタイトルでご講演いただきました。二日目は、午前は2つの会場を使用して視神経、眼球運動、基礎研究、臨床研究、網膜等についての一般口演があり、その後、午後からは50周年の特別講演として、北里大学名誉教授の石川哲先生と東京大学名誉教授の柳沢幸雄先生に特別講演をして頂きました。三日目は、日本神経眼科50周年記念のシンポジウムとして、関西医科大学生理学第二講座の磯田昌岐准教授（関西医大生理学）、敷島敬悟教授（東京慈恵医大）、橋本雅人准教授（札幌医大）、森本壮講師（阪大）の4名の先生方をお招きしてご講演いただきました。いずれも熱のこもった素晴らしいご講演でした。

今回の学会は質疑応答も大変活発で、神経眼科学の面白さを改めて再確認できたと思います。また、2日目終了後に奥学会長の計らいにより、50周年の記念展示として、ワインや軽食を頂きながら、過去の神経眼科学会にまつわる懐かしい写真や、抄録集のバックナンバーをみることができ、会場は大いに盛り上がりました。

最後に、本学会主催に際して、多大のご支援を賜りました大阪医大眼科同窓会、大阪府眼科医会、仁泉会の諸先生方にこの場をお借りして厚く御礼申し上げます。また、学会運営の裏方として尽力してもらった教室員に心より感謝いたします。（学会HP：<http://square.umin.ac.jp/janos50/>）



50周年記念式典若倉理事長(右)と奥先生



## 広域医療連携センター 発足記念

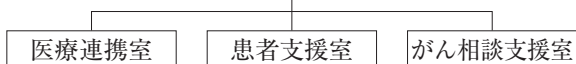
### ■センター発足の背景

平成24年6月にこれまでの『病院医療相談部』は新しく『広域医療連携センター』として生まれ変わりました。センター長には、病院長の黒岩敏彦先生が就き、各セクションの室長として医療連携室には木村文治先生、患者支援室には亀谷英輝先生、がん相談支援室には福田彰先生が就任されました。

センターはその名前のおり医療連携、福祉連携などを地域医療圏のみならず広域で担うことを目指しています。とりわけ本学は、特定機能病院としての使命・役割を果たすために、その特性を踏まえた前方連携機能を発揮していく必要があります。さらには、本学で治療を終えた場合には、次のステージへと移るための後方連携機能の強化も大事な役割になっています。

平成24年度の病院経営改善委員会の重点活動目標の一番目には、『広域医療連携センターの設置と活動による外来新患及び入院患者数の増加』が打ち上げられており、その課題実現に向けてスタッフが一丸となって取り組んでいく所存です。

### 広域医療連携センター



### ■センター発足からの主な行事

[これまで]

- 6月1日(金) 広域医療連携センター 院内での発足  
各スタッフへの辞令交付
- 7月3日(火) 高槻市医師会理事との懇談会 開催
- 7月21日(土) 四医師会 大阪医科大学医療連携の会 開催
- 8月下旬~ 病院長 高槻市周辺病院への訪問
- 9月1日(土) センターの外部への正式発足案内
- 9月21日(金) 大阪医科大学附属病院 医療連携  
内科の会・外科の会 開催
- 10月4日(木) 広域医療連携センター 発足式
- 11月22日(木) 大阪医科大学附属病院 連携病院長会総会 開催
- 12月15日(土) がん診療拠点病院 研修会 開催



医療連携室 スタッフメンバー

[これから]

- 2月2日(土) 高槻市医師会・大阪医科大学  
医療連携合同会議 開催
- 3月2日(土) 肝疾患連携拠点病院 市民公開セミナー 開催
- 4月1日(月) 地域連携システム『HumanBridge』の導入



患者支援室 スタッフメンバー

### ■将来計画

これから当センターは、地域に開かれた病院として医療連携がより活性化するため最大限尽力して参ります。

そのため来期から地域連携システムを導入予定です。これを契機に、紹介状の管理を徹底して行い、紹介患者の動きを紹介元へ報告できる新しいシステムをつくっていきます。

また、入退院の流れをよりスムーズにすることを目的に、院内機能の見直しを組織のあり方から含めて見直しを進めて参ります。

さらに本学は国指定のがん診療連携拠点病院、肝疾患診療連携拠点病院として認定を受けており、その役割は益々高まっています。

当センターは院内・院外の窓口となってその役割を遂行していきます。課題は山積しておりますが、ひとつずつ着実に遂行していきます。ご支援ご協力を何卒お願い申し上げます。



がん相談支援室 スタッフメンバー



## ■ 看護実践研究センター第一回市民看護講座開催

看護実践研究センター長 教授 田中 克子

11月17日（土）10：00～12：00、看護学部講堂で、地域住民への看護実践研究センターの活動として、第一回市民看護講座「がんとともに自分らしくいきる」のシンポジウムを開催いたしました。4人に1人ががんになる時代でもあり、がん看護について地域の皆様にもっとよく知ってもらおうという考えから、市民看護講座の第一回のテーマとして選びました。

1部は大阪医科大学附属病院がん専門看護師上田育子先生より、「がんになっても安心して治療を受けられるように」をテーマに、2部は名古屋大学大学院医学系研究科看護学専攻がんプロフェッショナル養成プラン特任講師/看護師阿部まゆみ先生より、「がんとともに生きる－緩和ケアとは－」をテーマにご講演していただきました。両先生とも看護職者らしく、わかりやすい、優しい口調でのご講演でした。当日は小雨模様で、寒くなってきた頃だったので、参加していただく方がおられるのかどうか不安

でもありましたが、81名のご参加を得ました。講演のアンケートから、全体の内容に関しては90%以上の方から「良かった」、感想では「がんになった場合にはどのようにすれば良いか」がとてもわかりやすかった、という意見を頂きました。この市民講座を通じて、がんになっても自分らしくいきることを考えるきっかけ作りになったのではないかと思います。このような活動を今後とも継続して行いたいと思います。

この場をお借りしてご参加いただきました皆様に心より感謝申し上げます。



## ■ 訪問看護師のための小児訪問看護研修会（講義・医療的ケア技術研修）報告

開催日時：平成24年12月1日（土）14：00～17：00

場所：大阪医科大学附属病院 第11会議室 24病棟

テーマ：蘇生・気管吸引・経管栄養・人工呼吸器

対象者：大阪府下の訪問看護に携わる15名

研修会主催者：大阪府・大阪府看護協会訪問看護事業部

研修会責任者：住良太郎（救急外来看護主任 救急看護認定看護師）

研修会協力者：新田雅彦（救急医療部医師） 番 聡子（NICU新生児集中ケア認定看護師）

山田晃子（65病棟臨床指導者） 大谷由紀子（NICU看護師）

救急外来 主任 住 良太郎

近年、在宅療養において人工呼吸療法をはじめ、医療ケアを必要とする小児が増加傾向にある。在宅療養を受けている小児と家族が安心できる医療を受けるには、ケアを行っている訪問看護師が質の高い知識と技術を習得しておくことが重要である。今回は大阪府および大阪府看護協会訪問看護事業部の共催により、研修会を開催した。

研修会では小児の蘇生に関して新田医師により講義が行われた。実技研修としては、蘇生・気管吸引（カニュー





レ）・経管栄養の3つのグループに分かれ順番に演習してもらった。15名の訪問看護師が参加され、研修中の様子としては積極的な質問も多くみられ、いきいきとした表情でシミュレーターを用いて演習をされていた。研修後の感想としては「今後も定期的に研修会を行ってほしい。」「もっと時間があると良かった。」という声もあり、効果的な研修会であった。



### ■ 阪神タイガース岩田投手小児病棟訪問 ～ありがとう、夢と勇気のプレゼント～

65病棟保育士 加納 淳生

平成24年12月9日、小児病棟に阪神タイガースの岩田稔投手が、入院中の子ども達に笑顔とエールを届けに来てくれました。岩田投手は、I型糖尿病を抱えながらプロ野球の世界でご活躍されています。

11月の終わり頃、岩田投手が来てくれると分かった時から子ども達はワクワクドキドキ。皆で手作りのボールと、思いをタップリ込めたメッセージ入りプラ板を作りました。

そして、ついに岩田投手訪問の日がやって来ました。先にプレイルームに来ることのできない個室の子ども達を訪問後、プレイルームでの質問タイムからスタートです。野球少年の野球に関する質問からちびっこの素朴な質問まで、終始笑顔で丁寧に答えて下さり、大いに盛り上がりました。その後一人一人にサインのプレゼントと、記念撮影をパチリ。最後にプレゼントの贈呈です。「うわ～、ありがとう！！」満面の笑みで応える岩田投手を見て、子ども達からも笑顔がこぼれました。

小児病棟の子ども達は、様々な疾患と闘っています。今回の岩田投手の訪問は、子ども達にとって大きな大きな力となりました。

この様な機会を作って下さった病院関係者の方、阪神球団の方に感謝します。本当にありがとうございました。



# 褥瘡対策室

## ■ 褥瘡対策室より

褥瘡対策は病院全体で取り組むべき重要な課題であり、医師、看護師、薬剤師、栄養士、理学療法士、事務職員など病院の全スタッフが集学的チームを結成し、正しい知識を共有して行う必要があります。平成22年度より年4回シリーズで褥瘡の院内研修会を行っております。4回すべて受講していただければ褥瘡の発生機序、予防、栄養管理、重症度評価、治療など褥瘡のすべてをご理解いただけるような内容で準備させていただきました。褥瘡対策は地道な活動ですが、褥瘡発生ゼロ病院を目指して今後とも職員の皆様のご協力をお願いできれば幸いです。  
(室長 久徳 茂雄)

### … 第14回褥瘡対策室院内研修会 ……………

日 時：平成24年6月27日（水）午後5時～午後6時  
場 所：臨床第一講堂  
演 者：皮膚・排泄ケア認定看護師 池 智代  
内 容：体位変換、ポジショニングのコツ



### … 第15回褥瘡対策室院内研修会 ……………

日 時：平成24年7月24日（火）午後5時～午後6時  
場 所：臨床第一講堂  
演 者：皮膚・排泄ケア認定看護師 池 智代  
内 容：体位変換、ポジショニングのコツ



### … 第16回褥瘡対策室院内研修会 ……………

日 時：平成24年10月25日（木）午後5時～午後6時  
場 所：臨床第一講堂  
演 者：皮膚・排泄ケア認定看護師 池 智代  
内 容：創傷被覆材や固定テープの貼付、剥離方法のコツ



### … 第17回褥瘡対策室院内研修会 ……………

日 時：平成24年11月29日（木）午後5時～午後6時  
場 所：臨床第一講堂  
演 者：皮膚・排泄ケア認定看護師 池 智代  
内 容：創傷被覆材や固定テープの貼付、剥離方法のコツ



平成24年度 医学会秋季学術講演会

日 時： 平成24年11月14日（水）16時～17時20分  
場 所： 大阪医科大学 臨床第一講堂

[特別講演]



『量子論と生命－化学の立場から』

医学部医学科 総合教育講座

化学・生体分子学教室 教授 林 秀行

[特別講演]



『頰椎のインストゥルメンテーション

～その恩恵と進歩～』

医学部医学科 生体管理再建医学講座

整形外科学教室 教授 根尾 昌志



学長室にて

前列左から：

根尾教授、竹中学長、

林教授

後列左から：

河野教授、朝日教授、

鈴木教授

平成24年度 大阪医科大学附属病院連携病院長会総会



平成24年11月22日（木）15：00～16：45  
ホテルグランヴィア大阪 20階「鳳凰」の間

『今後の医療政策の方向性と医療機関の経営対策』

～医療を取り巻く経営環境はどうか？

消費税問題も含めて～

株式会社 健康保険医療情報総合研究所

医療・保険情報調査研究企画部

ゼネラル・マネージャー 瀬野 隆則 先生

去る平成24年11月22日（木）に連携病院長会総会を開催し、連携病院から68名、院内から26名の先生方にご参加いただきました。

特別講演では、株式会社健康保険医療情報総合研究所 瀬野隆則先生にご講演いただき「厚労省の考える将来の医療政策」や「DPCデータの効果的な運用」など興味深いお話が豊富にあり、会場から多数のご質問も挙がり、有意義な講演となりました。

また引き続き開催された懇親会でも賑やかに会話がはずみ、盛況のうちに会を閉じました。



## 学内行事

### 平成24年度 防災訓練

平成24年11月30日（金）に、高槻周辺で震度6の地震発生を想定した防災訓練を実施しました。

35病棟を中心に避難病棟とし、災害対策本部立上げから、通報連絡、避難誘導、救出活動、被災者受入れトリアージの各訓練を行ないました。約80名の多職種の職員が参加し、各自の担当業務について一人一人が役割を再認識することが出来ました。



### 平成24年度 消防避難訓練実施

平成24年10月17日（水）、30日（火）午後1時30分から、61病棟（参加者15名）、NICU・ベビールーム（参加者20名）において、それぞれ消防避難訓練が実施され、責任番を中心に全員が落ち着いて行動し、連絡通報、避難誘導が行われました。



### 保育室避難訓練実施

平成24年11月15日（木）、地震により保育室の一部が倒壊したため、室内は危険と判断して屋外へ避難するという想定で訓練が実施されました。普段とは違う雰囲気の中、窓から園庭へ連れ出されたり、保育士に抱きかかえられて散歩車に乗せられたりした子どもたちはちょっとびっくりした様子でしたが、無事に新講義実習まで避難することができ、訓練は終了しました。



### 平成24年度 実験動物慰霊祭

日時：平成24年11月17日（土） 13：00～

場所：講義実習棟 第一講義室

実験動物センター長・朝日教授の祭文奉読に続き、医学医療の発展に貢献、寄与した数多くの実験動物の御霊に謝意を表し、図書館長 鈴木教授をはじめとして、参列者全員が焼香を行いました。



## 平成24年度 年賀交歓会

日 時：平成25年1月7日（月）13：00～

場 所：大学管理棟 第9会議室

理事長、学長、病院長をはじめ、元学長、名誉教授にもご出席賜り、100余名の教職員の参加のもと開催され、理事長から大学力の強靱化としてSSDの説明がありました。

※SSD = staff self-development



## 健康科学クリニック主催「市民健康フォーラム」開催



健康科学クリニック主催の第6回市民健康フォーラムが次のとおり開催されました。

日 時：平成24年12月1日（土）14：00～

場 所：看護学部 講堂

テーマ：「サプリメントの活用」と「がんの予防」

プログラム：

第1部：健康増進講話

藤原 祥子 医師（医療部門長）

「サプリメント…これ効くの？これ大丈夫？」

第2部：もっとよく知ろう「がん」のこと

後山 尚久 医師（健康科学クリニック所長）

「現在のがんの動向、がん検診の常識・非常識」

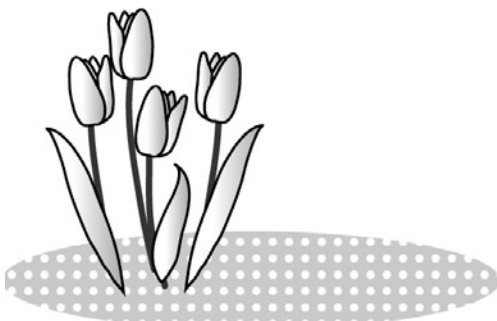
向坂 直哉 医師（診療部門長）

「がんの予防のよいこと、いろいろ」

講演の合間には、インターミッションコンサート「音楽療法による脳の活性化」として、高槻混声合唱団エスポールによる演奏がありました。



✿ 第7回市民健康フォーラムは、平成25年5月18日（土）に開催予定です。  
健康科学クリニック HP <http://www.omchsc.jp>



## 平成24年度 市民公開講座

### ■第5回

平成24年11月17日（土）14時～ 臨床第一講堂  
『腰部脊柱管狭窄症  
～腰下肢の痛み、しびれで長く歩けない～』  
整形外科 教授 根尾 昌志

『骨を丈夫にするお薬と仲良くする方法』  
附属病院薬剤部 窪田 理沙

『下肢の痛みやしびれに対する日常生活上の  
ストレスケアと工夫』  
附属病院 看護副部長 秦 八重子



### ■第6回

平成24年12月15日（土）14時～ 臨床第一講堂  
『肝癌の治療』  
一般・消化器外科学 教授 内山 和久

『肝臓がんのお薬との付き合い方』  
附属病院薬剤部 花房 加奈恵

『肝臓がん手術後に日常生活で気をつけたいこと』  
附属病院 消化器外科病棟看護師主任 坂田 愛美

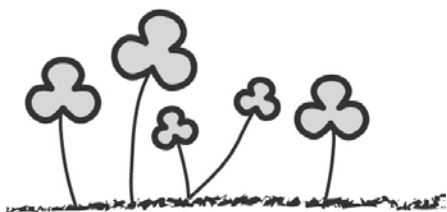


### ■第7回

平成25年1月19日（土）14時～ 臨床第一講堂  
『噛める喜びを可能にする最新技術  
—歯科インプラント治療—』  
歯科口腔外科学 教授 植野 高章

『感染症の予防はお口のケアから  
(口腔ケアのお薬について)』  
附属病院薬剤部 早坂 大

『おいしく食べ続けるために』  
附属病院 摂食・嚥下障害看護認定看護師 檀上 明美



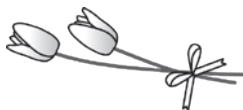
平成25年度の市民公開講座開催予定については、  
公式ホームページでご確認いただけます。

<http://www.osaka-med.ac.jp/>



平成25年度 大阪医科大学 市民公開講座 開催予定

回数	開催日	演 題	担当部署	演 題	薬剤師
第1回	4月20日(土)	がんのリハビリテーション	リハビリテーション 医学教室 教授 佐浦 隆一	がん治療を支えるお薬と その使い方	高橋智恵子
				あなたもトライ! —自宅のできる呼吸訓練—	西原 望
第2回	5月18日(土)	女性のための形成外科	形成外科学教室 准教授 久徳 茂雄	皮膚のトラブルとお薬の話	梅本 裕子
				皮膚や傷あとについての悩み 解決	東尾 智美
第3回	6月15日(土)	ボケたり脳卒中にならない ために—脳外科、脳卒 中、抗加齢医学の専門医 が語る最新医学—	脳神経外科学教室 講師 梶本 宜永	脳卒中予防薬と上手く つき合うには	山崎 浩平
				脳卒中の早期発見のために 知っておきたいこと	松本 由香
第4回	9月7日(土)	腎癌治療の進歩 —手術から分子標的治療まで—	泌尿器科学教室 講師 稲元 輝生	腎がんの分子標的薬と上手く つき合うために	片岡 憲昭
				腎がんと日常生活	福岡 美紀
第5回	11月16日(土)	ペインクリニックについて —痛みとその治療・対処法—	麻酔科学教室 助教 藤原 俊介	痛み止めのお薬について	平 祥子
				痛みに負けない! —心と体のケア—	渡部 綾子
第6回	12月21日(土)	目がかすむんです	眼科学教室 診療准教授 奥 英弘	点眼薬の使い方について	山口 修子
				あなたの目を大切にするために	橋本 久美
第7回	平成26年 1月18日(土)	子宮頸がんはワクチンで 予防できる	産婦人科学教室 診療准教授 寺井 義人	ワクチンのお話	高嶋 美季
				子宮頸がんの予防と日常生活に ついて	藤原 寛子



この予定は変更になることがあります。

# 寄付金報告

## \*\*\* ご寄付のお願い \*\*\*

大阪医科大学では、大阪医科大学基金および教育環境整備事業など各種事業への募金を募集しています。

皆様方のご支援、ご協力をお願い申し上げます。

大阪医科大学へのご寄付は、税制上の優遇措置（寄付金控除）を受けることができます。

### 【税制上の優遇措置とは】

#### 〔個人の方のご寄付〕

平成23年度税制改正により、既存の「所得控除」に加え、寄付者の選択により新たに「税額控除」の適用を受けられるようになりました。寄付金の約40%（ただし、所得税の25%が限度）が所得税額から控除されます。

#### 〔法人の方のご寄付〕

一般の寄付金の損金算入限度額と別枠で損金算入することができますし、あるいは「受配者指定寄付金」として寄付金全額が損金に算入できます。



### ●現在募集中の募金の種類です。

- ① 教育環境整備事業募金
- ② 大阪医科大学基金
- ③ 附属病院の整備事業募金
- ④ 別館講堂「机募金」
- ⑤ 「別館」・「歴史資料館」維持事業

募集要項につきましては、本学ホームページ (<http://www.osaka-med.ac.jp/>) の「ご支援のお願い」から、お入りください。

### ■大阪医科大学基金へのご寄付

#### <寄付金申込者>

平成24年10月1日から平成24年12月31日までの間の寄付金入金件数は24件、金額は4,620,000円です。

ここに寄付金申込みをいただきました方のご芳名を掲載させていただき感謝の意を表します。

なお、募集当初から平成24年12月31日までの間の寄付金入金件数は499件、金額は70,848,000円です。

(順不同・敬称略)

医療法人信愛会暁生会脳神経外科病院 ユウキ産業株式会社 株式会社栄研 株式会社メディテイク  
社会医療法人山弘会上山病院 医療法人毅峰会吉田病院 有限会社すばる印刷  
宮本麻起子 打橋 信 関根 秀和 源久 忠仁 國澤 隆雄 松本 延男 河内 明  
植木 實 谷村 和治 間島 行春 匿名1件

※毎年継続したご寄付の申し込みは、「大阪医科大学基金（通称・フレンズ基金）」で承っております。

なにとぞご支援賜りますようお願い申し上げます。

## ■ 附属病院の整備事業募金へのご寄付

### <寄付金申込者>

平成24年10月1日から平成24年12月31日までの間の寄付金入金件数は3件、金額は1,200,000円です。

ここに寄付金申込みをいただきました方々に感謝の意を表します。

なお、募集当初から平成24年12月31日までの寄付金入金件数は112件、金額は29,040,000円です。

匿名3件

## ■ 教育環境整備事業募金へのご寄付

### <寄付金申込者>

平成24年10月1日から平成24年12月31日までの間の寄付金入金件数は11件、金額は16,630,000円です。

ここに寄付金申込みをいただきました方々のご芳名を掲載させていただき感謝の意を表します。

なお、平成24年4月1日から平成24年12月31日までの寄付金入金件数は36件、金額は53,860,000円です。

(順不同・敬称略)

医療法人 メディフォー 平林 宏一 平林 維久子 中原 秀也 中原 千名美 匿名6件

## ■ 別館講堂「机募金」へのご寄付

### <寄付金申込者>

平成24年10月1日から平成24年12月31日までの間の寄付金入金件数は1件、金額は300,000円です。

ここに寄付金申込みをいただきました方のご芳名を掲載させていただき感謝の意を表します。

なお、平成23年1月1日から平成24年12月31日までの寄付金入金件数は12件、金額は5,100,000円です。

(敬称略)

國澤 隆雄

## ■ ご支援をお考えの皆様へ

### ご寄付のお手続き方法

1. 大阪医科大学ホームページよりダウンロードした寄付申込書にご記入のうえ、FAXまたはご郵送ください。

- ご郵送先：〒569-8686  
大阪府高槻市大学町2番7号
- FAX：072-681-3723

2. お近くの金融機関より下記口座にお振り込みをお願いします。

口座名義	学校法人大阪医科大学募金口
振込先	三井住友銀行 高槻支店
口座番号	普通預金 2161078

※本学所定の振込用紙をご利用して三井住友銀行の本支店でお振込みされた場合は、お振込手数料は無料です。振込用紙は募金推進本部までご請求ください。

3. ご入金の確認ができ次第、領収書とお礼状をお送りいたします。

(備考) 寄付申込書は、本学ホームページ (<http://www.osaka-med.ac.jp>) の「ご支援のお願い」から、お入り下さい。

寄付金に関する  
お問合せ

学校法人大阪医科大学 募金推進本部  
〒569-8686 大阪府高槻市大学町2番7号  
TEL:072-684-7243(直通) FAX:072-681-3723

受付時間／平日9：00～16：30

E-mail:kikin@art.osaka-med.ac.jp



# 行事日程

---

## ■主な行事日程(平成25年3月～5月)

---

- |         |   |         |  |
|---------|---|---------|--|
| 3月1日(金) | 医学部臨時教授会<br>医学部センター試験利用入学試験<br>2次試験合格発表<br>医学部卒業証書・学位記授与式 | 4月1日(月) | 病院長・副院長会議  |
| 4日(月)   | 病院長・副院長会議   | 2日(火)   | 医学部臨時教授会<br>看護学部臨時教授会<br>医学研究科教授会<br>大学院医学研究科入学宣誓式 |
| 6日(水)   | 診療科長会<br>医学研究科教授会   | 3日(水)   | 医学部・看護学部入学宣誓式<br>診療科長会                             |
| 10日(日)  | 医学部一般入学試験(後期)<br>1次試験                                     | 10日(水)  | 看護学部教授会  |
| 12日(火)  | 理事会   | 16日(火)  | 理事会  |
| 13日(水)  | 看護学部教授会   | 17日(水)  | 医学部教授会   |
| 15日(金)  | 医学部臨時教授会<br>医学部一般入学試験(後期)<br>1次試験合格発表                     | 20日(土)  | 平成25年度第1回市民公開講座                                    |
| 16日(土)  | 歴史資料館特別公開講座   | 30日(火)  | 病院長・副院長会議  |
| 18日(月)  | 医学部一般入学試験(後期)<br>2次試験                                     | 5月1日(水) | 診療科長会  |
| 19日(火)  | 医学部教授会<br>医学部一般入学試験(後期)<br>2次試験合格発表                       | 8日(水)   | 医学研究科教授会<br>看護学部教授会                                |
| 29日(金)  | 平成24年度第Ⅱ回大学院学位記授与式  | 14日(火)  | 理事会  |
| 30日(土)  | 理事会・評議員会  | 18日(土)  | 平成25年度第2回市民公開講座                                    |
|         |   | 22日(水)  | 医学部教授会   |
|         |   | 25日(土)  | 理事会・評議員会   |

## ■主要会議とその主な議題(平成24年11月～平成25年1月)

### 【理事会】

[平成24年11月13日]

#### —審議事項—

1. 大阪医科大学医療総合研修センター規程の制定について
2. 大阪医科大学大学院学則の一部改正について
3. 大阪医科大学学長予定者選考規程の一部改正について
4. 学校法人大阪医科大学事務組織並びに事務分掌規程の一部改正について
5. 学校法人大阪医科大学物流センター規程の一部改正について
6. 予備費の使用について

#### —報告事項—

1. 担当理事運営会議報告
2. 日本私立大学連盟・日本私立医科大学協会報告
3. 創立90周年記念募金等事業について
4. 学事関係報告
5. 病院関係報告

[平成24年12月11日]

#### —審議事項—

1. 評議員の選任について
2. 診療報酬の流動化について
3. 予備費の使用について
4. 募金について

#### —報告事項—

1. 担当理事運営会議報告
2. 理事会内 学長予定者選考規程検討委員会委員の選任について
3. 日本私立大学連盟・日本私立医科大学協会報告
4. 大阪船員保険病院の譲渡について
5. 学事関係報告
6. 病院関係報告
7. 平成24年度(前期)省エネルギー実績報告

[平成25年1月15日]

#### —審議事項—

1. 学校法人大阪医科大学事務組織並びに事務分掌規程の一部改正について
2. 予備費の使用について
3. 電子カルテの導入について
4. 教授の選任について

#### —報告事項—

1. 法人合併について
2. 担当理事運営会議報告
3. 日本私立大学連盟・日本私立医科大学協会報告
4. 学事関係報告
5. 大学認証評価について
6. 病院関係報告
7. 平成26年度入試日程(案)について

### 【評議員会】

[平成24年12月11日](臨時)

#### —審議事項—

1. 評議員の選任について
2. 診療報酬の流動化について
3. 募金について

#### —報告事項—

1. 平成24年度上半期収支状況について
2. 新研究科の設置について
3. 北園住宅解体工事について
4. 大阪医科大学保育所建替計画について

### 【大講座主任教授会】

[平成24年12月26日]

#### —審議事項—

1. 任期付教員の再任にかかる事前審査について
2. 今後の大講座主任教授会の運営について

### 【医学部教授会】

[平成24年11月7日](臨時)

#### —審議事項—

1. 生命科学講座生化学教室担当教授の選考について
2. 生体管理再建医学講座救急医学教室担当教授の選考について
3. 学長予定者選考規程施行細則の一部改正及び学長予定者選考規程改正委員会・学長辞任請求規程改正委員会委員長の委嘱について

#### —報告事項—

1. 学長報告

# 主要会議報告

---

[平成24年11月21日]

—審議事項—

1. 人事に関する件
2. 第6学年卒業の可否判定について
3. 生命科学講座生化学教室担当教授の選考について
4. 生体管理再建医学講座救急医学教室担当教授の選考について
5. 総合医学講座病理学教室担当教授の選考について
6. 大阪医科大学倫理委員会規程の一部改正について
7. 大阪医科大学利益相反マネジメント規程及び利益相反ポリシーの一部改正について

—報告事項—

1. 学長報告
2. 教育機構長報告
3. 倫理委員長報告
4. 中山国際医学医療交流センター長報告
5. 病院長報告
6. 図書館報告

[平成24年12月5日](臨時)

—審議事項—

1. 総合医学講座病理学教室担当教授の選考について
2. その他

—報告事項—

1. 学長報告

[平成24年12月19日]

—審議事項—

1. 人事に関する件
2. 第2・4学年生の処分について
3. 生体管理再建医学講座救急医学教室担当教授の選考について
4. 総合医学講座病理学教室担当教授の選考について
5. 予防・社会医学講座衛生学・公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ教室担当教授の選考について
6. 医学教育改革プロジェクト委員会の立上げについて
7. 平成24年度文部科学省「私立大学教育研究活性化設備整備事業(名称：3D画像を用いた

教育素材開発とシミュレーションシステムの構築)」の委員会立上げについて

8. 学長予定者選挙について

—報告事項—

1. 学長報告
2. 教育機構長報告
3. 受託・共同研究審査会報告
4. その他

[平成25年1月23日]

—審議事項—

1. 人事に関する件
2. 生命科学講座生化学教室担当教授の選考について
3. 総合医学講座病理学教室担当教授の選考について
4. 予防・社会医学講座衛生学・公衆衛生学Ⅰ・Ⅱ教室担当教授の選考について
5. 大阪医科大学廃棄物取扱規程の制定について
6. 平成24年度学生褒章(学長賞・教育機構長賞)の選定について
7. 6学年原級留置者の臨床実習について

—報告事項—

1. 学長報告
2. 教育機構長報告
3. 受託研究審査会報告
4. 倫理委員会報告
5. その他

**【医学研究科教授会】**

[平成24年11月7日]

—審議事項—

1. 医学研究科入学試験(10月実施分)可否判定について
  2. 大学院委員会規程の一部改正について
- 報告事項—
1. 平成24年度日本学生支援機構学生生活調査について
  2. 平成24年度第Ⅱ回学位論文審査について
  3. 平成24年度第Ⅱ回学位授与式及び平成25年度入学宣誓式(案)について
  4. 大学院特別講義(11/8)について



5. 7大学連携先端的がん教育基盤創造プラン第1回教育改革部門シンポジウム(11/16)について
6. 研究支援に向けての研究者意向とSeeds調査について

〔平成24年12月5日〕

—審議事項—

1. 学外研修許可願及び大阪府立大学との放射線照射実験に関する件について
2. 平成25年度大学院教育要項作成について

—報告事項—

1. 平成24年度学位論文提出のための語学試験願書受付について
2. 平成25年度医学研究科入学試験願書受付について
3. がんプロフェッショナル養成基盤推進プラン医療フォーラムについて
4. 第2回臨床研究教育研修会について
5. 第8回ロレアル・ユネスコ女性科学者日本奨励賞の募集について
6. 研究機構を利用した研究業績について
7. その他

〔平成25年1月9日〕

—審議事項—

1. 平成24年度 第Ⅱ回学位申請受理可否について
2. 平成24年度 研究生新規出願者及び平成25年度への継続案内の送付について
3. 平成25年度 シラバス案及び授業担当者の確認について
4. 平成25年度 統合講義の担当者斡旋について

—報告事項—

1. 平成24年度 大学院4年生の成績評価の書類提出について
2. 平成24年度 大学院1～3年生に係る成績評価等の日程について
3. 平成24年度 「統合講義」成績評価に係るレポート及び出席簿の提出期限について
4. 第2回 臨床研究教育研修会について
5. がんプロフェッショナル養成基盤推進プランについて
6. 研究者育成の為の行動規範教育の標準化について

7. 第一三共生命科学研究振興財団 若手研究者海外短期留学奨学助成について
8. 大学連携バイオバックアッププロジェクト(IBBP)について
9. 第一三共生命科学研究振興財団 第11回高峰記念第一三共賞候補者の推薦依頼について
10. 内藤記念科学振興財団 第36回内藤コンファレンスポスター発表者募集について
11. 大阪医科大学シーズ集発行委員会の立ち上げについて

【大学協議会】

〔平成24年11月27日〕

—協議事項—

1. 学長予定者選考について
2. 看護学部図書経費について
3. その他

〔平成25年1月28日〕

—協議事項—

1. 平成25年度医学部・看護学部入学試験日程及び関連会議等の日程について
2. 看護学部卒業研究の倫理審査(案)について

【看護学部教授会】

〔平成24年11月14日〕

—審議事項—

1. 非常勤講師の上申について
2. 実習施設の追加について
3. 平成25年度学事予定表(案)について
4. 卒業演習要綱(案)について
5. 「看護実践と理論の統合」の評価について
6. センター試験監督者の選出について
7. 第2学年学生の休学について
8. 利益相反マネジメント規程、利益相反ポリシーの改訂について
9. 学長予定者選考規程施行細則の改正案について
10. 学長予定者選考規程改正委員会、学長予定者選挙管理委員会委員候補者の選出について
11. 新研究科前期・後期課程カリキュラムについて
12. 平成25年度設置経費及び看護学部予算について

—報告事項—

1. 海外出張について
2. 看護学部の研究倫理審査について

# 主要会議報告

---

3. 大学協議会報告
4. 新研究科設置準備委員会報告
5. 予防医学研究機構設置準備委員会報告
6. 大学経営改善委員会報告
7. 各種センター報告
  - 1) 学生生活支援センター報告
  - 2) 教育センター報告
  - 3) 看護実践研究センター報告
  - 4) 実習調整委員会報告
  - 5) 国際交流推進委員会報告
8. その他

[平成24年11月16日](臨時)

—審議事項—

1. 平成25年度看護学部入学試験に関する件  
看護学部看護学科推薦入学試験(併願制)及び  
(専願制)の合格者及び繰り上げ候補者の決定  
について
2. 学長予定者選考規程改正委員会委員及び学長  
予定者選挙管理委員会委員の選出について

—報告事項—

1. 受託研究・共同研究の事務フローについて

[平成24年11月28日](臨時)

—審議事項—

1. 教員人事に関する件

[平成24年12月12日]

—審議事項—

1. 非常勤講師の上申について
2. 既修得単位認定申し合わせ事項について
3. 教員評価の活動記録シート及び活動報告シ  
ートについて

—報告事項—

1. 平成24年度助産師国家試験受験資格希望者の  
選抜手順マニュアルについて
2. 2012年度第2回看護学部FDワークショップ  
について
3. 大学協議会報告
4. 新研究科設置準備委員会報告
5. 各種センター報告
  - 1) 学生生活支援センター報告
  - 2) 教育センター報告
  - 3) 看護実践研究センター報告

- 4) 実習調整委員会報告
- 5) 国際交流推進委員会報告
6. その他

[平成25年1月9日]

—審議事項—

1. 大阪医科大学入学時特待生規程の一部変更  
について
2. 総合実習の履修要件について
3. 仮学生証の発行について
4. 情報処理室の印刷用紙について
5. 実習室の使用規程について
6. 大阪医科大学看護学部各種委員会委員の選出  
について
7. 学部の研究倫理審査について
8. 看護学部保護者説明会の日程について

—報告事項—

1. 学長予定者選挙日程について
2. 研究倫理(教員及び大学院生)の審査について
3. 新入生保護者説明会の在り方について
4. 新研究科設置準備委員会報告
5. 各種センター報告
  - 1) 学生生活支援センター報告 なし
  - 2) 教育センター報告
  - 3) 看護実践研究センター報告
  - 4) 実習調整委員会報告
  - 5) 国際交流推進委員会報告
  - 6) 自己点検・自己評価委員会報告
  - 7) 年報編集委員会報告
6. その他

## ■ 近畿圏循環型医療人キャリア形成プログラム最終年度の外部評価委員会の開催

平成24年11月24日(土)午後1時30分から近畿圏循環型医療人キャリア形成プログラムの外部評価委員会をホテルグランヴィア大阪で開催しました。

外部評価委員には愛媛大学医学部総合臨床研修センター・高田清式教授、奈良県立医科大学教育開発センター・藤本真一教授、東京大学医学部災害医療マネジメント部・中尾博之准教授にお願いし、本学からはキャリア形成支援センター長の近藤敬一郎教授、連携大学病院からは事業担当責任者の関西医科大学・岡崎和一教授、兵庫医科大学・芳川浩男教授、近畿大学・医学部・岡田満教授の各コーディネータを始め関係者が出席し、この事業活動について5年間の総括並びに、課題について報告しました。

評価内容はこの事業で期待されている専門医取得状況や各連携大学病院間での出向状況や登録者数など多岐にわたる全体報告と各連携大学からの取組みを報告しました。各連携大学病院での取組みに差があるものの、着実に成果をあげ、地域医療に貢献しているとの非常に高い評価をいただきました。

事業が本年度で終了しますが、医療人養成の取組みは今後も継続することを要望され、この事業の目的である『大学病院間の相互連携による優れた専門医等の養成』の範となるような活動に発展させるよう期待されました。また、現在活動実績と外部評価結果の内容を冊子にまとめ、25年1月下旬の完成を目指しています。



## ■ 医学部学生がシミュレーション教育の有用性を学会発表



平成24年11月24日、大阪市天王寺区の大阪国際交流センターにおいて開催されました第192回近畿外科学会において、シミュレーション教育の有用性について発表しました。内容は、医学部五年生夏目大知他15名が『医学部生クラブ活動によるシミュレーション・スキルスラボの応用と可能性』を、研修医の斉藤賢吉先生他3名が『外科医勧誘のためのシミュレーション・スキルスラボの有用性』でした。

私たちはMTSセンターの開設に伴い、メディカルトレーニングクラブを結成し、種々のシミュレーターを駆使して臨床技能を学ぶことができました。自らが学んだ知識や技術をより深めるため、クラブでの勉強会を開催したり、臨床の先生方をお招きして直接指導をいただくなど精力的に活動してきました。また、関西

## メディカルトレーニングサポートセンター 大学安全対策室

の多くの医科大学に呼びかけてシミュレーション教育ワークショップをこれまでに数回開催してきました。

今回、医療行為が直接行えない学生が、シミュレーター機器を使って外科手技を初め様々な臨床技能を習得できることを示しました。多くの先生方に混じり、学生として発表をやり遂げることが出来ました。発表内容には多くの質問があがり、シミュレーション教育への関心の高さが伺えました。

会場では若い先生方が発表する姿を見て学会の様子を学び、会場独特の空気を味わうことができ、参加者全員にとって非常に良い経験になりました。

夏目 大知



前列左から：森本貴子さん、山本圭以さん、山口歩さん、  
近藤敬一郎教授、夏目大知、  
塚本美輝さん、河合弘幸君  
後列左から：斎藤賢吉先生、松井聡介君、吉迫祐太君、  
柏谷貴之君、東堂まりえさん

### ■大学安全対策室からのお知らせ

大学安全対策室 室長 河野 公一

平成24年12月6日に大学安全対策委員会が開催され、各小委員会より以下の報告等がなされました。

薬品管理小委員会より、平成25年度緊急シャワーの設置要望が出され、承認されましたので、平成25年度新規事業として予算要望書を提出いたしました。

環境管理小委員会より、廃棄物取扱規程が平成24年11月1日から施行され、理事長により廃棄物統括管理責任者が指名されたと報告がありました。

教室等における化学物質調査委員会より、化学物質全保有調査の結果が報告され、この調査結果の精度を図るため、平成24年12月10日～19日まで各教室等に立入調査を実施しました。

その際、関係者の方々には多大なるご協力をいただき、感謝申し上げる旨の発言がありました。大学安全対策室からも感謝申し上げます。

さらなる化学物質等の適正管理を向上させるべく、今後も続けて対策を提言して参ります。

\* 実施した研修会のDVDや安全に関する書籍の貸出をいたしますのでご利用ください。

【連絡先】

大学安全対策室（総合研究棟1階）内線3404、3405

E-mail sps000@art.osaka-med.ac.jp

URL [www.osaka-med.ac.jp/deps/sps/index.html](http://www.osaka-med.ac.jp/deps/sps/index.html)

(学内限定ですが、上記URLよりご意見をお寄せいただける入力フォームを用意しております。皆様のご意見をお待ちしております。)

#### 大学安全対策委員会

教室等における化学物質調査委員会設置について

#### 薬品管理小委員会

平成25年度緊急シャワー設置予算要望

#### 環境管理小委員会

廃棄物取扱規程の施行（平成24年11月1日）

#### 教室等における化学物質調査委員会

化学物質等全保有調査の調査結果報告

化学物質等全保有立入調査の実施（平成24年12月10日～19日）



■ 近畿厚生局主催 平成24年度 医療安全に関するシンポジウム

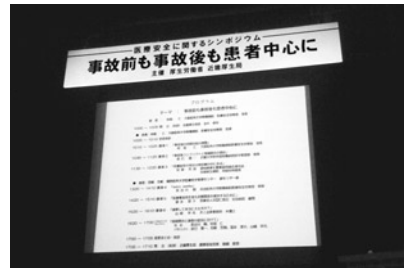
事故前も事故後も患者中心に

平成24年11月29日、大阪サンケイホールブリーゼにおいて、「医療安全に関するシンポジウム」が開催された。毎年、全国医療安全推進週間に合わせて開かれる近畿厚生局主催の催しである。近畿管内の医療機関から管理者や医療安全担当者約870人が参加して、事故後の初期対応、すなわち「情報開示」と「謝罪」をテーマに丸一日に及ぶ熱い議論が交わされた。



今年のシンポジウムの企画は大阪医科大学附属病院医療安全対策室が担当した。テーマの設定は、この数年の医療安全対策の活動が事故を防止することに重点が置かれがちで、事故が起こってから患者や家族の心情へのケアが十分に実施されていないという問題意識からである。事故前に払われるケアマインドは、事故後にこそ一層継続しなければならない。それが不十分な為に不幸なコンフリクトが日常のように繰り返されている。どうすればそれを回避することができるかを考える機会を提供するシンポジウムである。

演者には、村尾医療安全対策室長の他、テーマに関連して多彩な演者が登場し、それぞれの切り口で講演が展開された。まず、村尾室長は「事故後の初期対応の課題」と題し、「事故後のクライシスマネジメントが組織を守ることに偏り、一義的に守られるべき事故当事者たち個人を守るクライシスマネジメントが不足している」と、現状の問題点を整理した。次に、近畿大学医学部附属病院安全管理部の辰巳教授は、これまでの近大病院での情報開示と謝罪の経験を生々しく紹介し、今後のあるべき姿を提示した。今年の当院医療安全研修にもお招きした安城厚生病院の安藤先生は、「コンフリクトにならないためのポイントは、医療者が患者のナラティブを聞くコミュニケーション能力を身に着けることである」と、コンフリクト発生メカニズムを説いた。自治医科大学附属病院医療安全対策部の長谷川教授は「sorry works!」の紹介をするなかで、「共感するにしろ謝罪するにしろ、その姿勢の継続性を演出することは重要な要素である」と、「東京03」の謝罪コントの動画を紹介しながら実践のポイントを語った。今回の紅一点である広島県安田病院顧問の富永理子氏は、呉医療センターで医療安全を担当した豊富な実践経験の紹介を通し、適切な情報開示と謝罪が実際に機能することを具体的に示した。そして最後に、医師と弁護士のダブルライセンスを持つ井上法律事務所の山崎弁護士からは、「基本的には、謝罪しても裁判で不利になることはない」と、自らの判例研究結果を示しながら語った。



全ての講演が終わった後、村尾室長と自治医大長谷川教授の司会で「情報開示と謝罪の普及にむけて」と題しパネルディスカッションが行われた。初の試みであったが会場からの興味深い質問を契機に、パネルディスカッションでも活発な意見の交換が行われ、シンポジウムは無事終了した。

今回のシンポジウムを企画したことを機に、当院でも事故後の初期対応の整備と標準化に向け、病院組織一丸となって取り組むことが必要であると再認識した。



# 感染対策室

## ■感染対策研修会

感染対策室では、去る11月1日(木)、第19回感染対策研修会を浮村室長の進行で開催いたしました。今回は消化器外科科長 内山 和久 教授に『手術部位感染(SSI)の現況と対策』というテーマで御講演をいただきました。

最初に玉井委員長から、外科の先生が感染に取り組まれているということは、病院としても心強いことだと挨拶があり、開始となりました。

講演内容は、病院内感染について説明があり、病院内感染を防止すればするほどコスト削減につながることや手術部位感染(SSI)の分類や外科感染症の現況、そのうえで手術患者の感染の中では外科感染症が最多であるとわかりやすく説明がありました。また、手術部位感染が発生すると病院側、患者側にとっても不利益となり、医療の質の低下につながるとのことでした。手術手技別の術後感染発生率は消化器外科手術に多いという報告が厚生労働省の資料を示しながらお話されました。

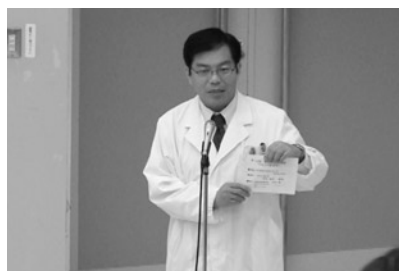
続いて、手術の分類、手術創感染の発生率、臓器別術後感染症の発生頻度などを本院のデータを交えながら、汚染手術になればなるほど、発生率があがること、その後はいかにしてSSIを防ぐかという話へと続き、術前の患者準備、術中で必要なこと不要なこと、適応があるときは予防的抗菌薬投与を行うことなどの説明がありました。剃毛が基本的には不要であること、血糖値管理の重要性や水道水と滅菌水での手洗いの際のコロニー数に変わりはないこと、2重の手袋装着が推奨されていることなど、厚生労働省の資料をもとにお話しされました。



内山和久教授



委員長 玉井浩教授



司会 浮村聡室長



後半は、医療者の手指がどれだけ汚れているか、MRSAの怖さとその伝搬経路などから手洗いやアルコール消毒の重要性が話され、最低30秒は手洗いが必要であり、簡単に実行するにはハッピーバースデーを歌うとちょうど30秒となるなどの方法が紹介されました。また、抗菌薬投与に関しては初期治療には広域スペクトラムをもつ抗菌薬を使用し、確定診断後に最適な抗菌薬に変えていかなければ、耐性菌発現の原因になりうとのことでした。続いてMDRPのお話、耐性菌の機序があり、抗菌薬の適正使用が必要であること、抗菌薬を使用しすぎで発生する耐性菌、抗菌薬を使っても自然に発生しない耐性菌についてお話があり、最後はやはり一処置一手洗いが重要であり、励行をお願いしたいとお話で締めくくられました。

今回も、547名と多数のご参加をいただき、アンケートからは今後の業務に活用できると約76%の回答をいただきました。感染対策室では、来年度も有意義な講演を開催する予定です。また、この職員研修は年2回の受講が医療法にて定められていますので、必ず受講をお願いいたします。

平成24年度の感染に関する職員研修（特別講演会、研修会、事例検討会）はすべて終了しております。受講回数が年2回に満たない方は、DVD借用、またはeラーニングでの受講をお願いいたします。受講に関しましては、感染対策室まで遠慮なくお尋ね下さい。 感染対策室 内線2780





# 緩和ケア研修会報告

<集合写真>



## 4. 参加者 24名

氏名	部署
池原 瑞樹	国家公務員共済組合連合会 枚方公済病院 呼吸器内科
岡田 英晶	北摂総合病院 診療部
沖田 充司	第一東和会病院 内視鏡外科センター
谷内 幹弘	龍神堂医院
中村 憲	第一東和会病院 内科
李 泰喜	仁寿クリニック
綾仁 悠介	大阪医科大学附属病院 卒後臨床研修センター
池田宗一郎	大阪医科大学附属病院 呼吸器内科
大関 舞子	大阪医科大学附属病院 一般・乳腺・内分泌外科・消化器外科
斯波 宏行	大阪医科大学附属病院 卒後臨床研修センター
島 卓史	大阪医科大学附属病院 卒後臨床研修センター
寺田 信一	大阪医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

氏名	部署
寺西 真章	大阪医科大学附属病院 消化器内科
富永 智	大阪医科大学附属病院 卒後臨床研修センター
中田 智之	大阪医科大学附属病院 卒後臨床研修センター
福本 真延	大阪医科大学附属病院 卒後臨床研修センター
肥塚幸太郎	大阪医科大学附属病院 卒後臨床研修センター
不二樹五郎	大阪医科大学附属病院 卒後臨床研修センター
宮崎 博太	大阪医科大学附属病院 卒後臨床研修センター
横矢 悠太	大阪医科大学附属病院 卒後臨床研修センター
谷川 隆彦	医誠会病院 消化器外科センター
坂東 園子	大阪医科大学附属病院 呼吸器内科
岩本 充彦	大阪医科大学附属病院 一般・乳腺・内分泌外科・消化器外科
碓 絢菜	大阪医科大学附属病院 卒後臨床研修センター



保健管理室からのお知らせ

■ 冬の感染症（感染性胃腸炎、インフルエンザなど）について

冬の感染症（感染性胃腸炎、インフルエンザなど）の流行は1～2月がピークとなります。今冬はノロウイルスなどによる感染性胃腸炎が流行しており、集団発生の報告も多いです。

学生の中には感染症を疑う症状があるにもかかわらず、登校し講義や実習に参加している者がいます。学校や医療機関は二次感染による集団発生の危険性が高く、感染が拡大しますと患者様にご迷惑をおかけすることになります。感染防止のため、ひとりひとりの学生が責任のある行動をとって下さい。

冬の感染症の注意事項

- ① 流水・石けんによる手洗い（帰宅時、食事前、調理前、配膳前、トイレ後）。
- ② こまめなうがいをお願いします。
- ③ 咳エチケットを守りましょう。
- ④ 加熱が必要な食品、二枚貝類（かき、はまぐり、あさりなど）は十分に加熱して下さい。
- ⑤ ノロウイルスなどによる感染性胃腸炎に感染した場合、症状消失後2週間程は糞便中にウイルスが排出されますので、注意して下さい。

■ インフルエンザワクチン接種について

平成24年度のインフルエンザワクチン接種の接種状況（本学実施）は表1、2のようになっています。毎年、医学部学生1、2年生の接種者数が低く、啓発活動を行った結果、少し増加してきましたが、引き続き学生（特に低学年）への啓発活動を強化したいと考えています。

表1.インフルエンザワクチン接種状況（職員）

職種	対象者数	接種者数
教員	400	358 (89.5%)
事務職	230	209 (88.3%)
看護職	847	829 (97.8%)
技術職	295	273 (92.5%)
技能職	39	38 (97.4%)
労務職	16	13 (81.3%)
レジデント・研修医	218	188 (86.2%)
その他	225	210 (93.3%)
総計	2270	2118 (93.3%)

表2.インフルエンザワクチン接種状況（学生）

所属	対象者数	接種者数
医学部1年生	117	49 (41.9%)
医学部2年生	121	30 (24.8%)
医学部3年生	109	45 (41.3%)
医学部4年生	112	53 (47.3%)
医学部5年生	94	78 (83.0%)
医学部6年生	108	74 (68.5%)
看護学部	263	260 (98.9%)
大学院生	124	73 (58.9%)
総計	1048	662 (63.2%)

■ 定期職員健康診断、特殊健診を終えて

平成24年度の定期健康診断は、10月15日（月）～10月26日（金）の10日間で実施しました。未だ受検されていない方（あるいは結果未提出）がいます。健康診断は労働安全衛生法で受検が義務付けられており、結核の定期検診も兼ねていますので、ご協力をお願い致します。

また受検された方は「自分の健康、生活習慣を考える」良い機会です。所見の有無に関係なく今回の健康診断結果を活用して、自分自身の体の状態や生活習慣を振り返ってみましょう。

## 保健管理室からのお知らせ

### ■ 平成25年度予定

平成25年度の各種健康診断・感染症事業予定は下記のとおりとなります。詳細は対象者の方々に随時ご案内しますので、必ず受検して下さい。

また健康診断、感染症事業の実施においては、中央検査部、中央放射線部、病院感染対策室、薬剤部など関係部署の多くの方々のご協力で実施しています。厚く御礼申し上げます。

健康診断名	対象者	実施時期	関連法規
学生定期健康診断	医学部・看護学部学生、大学院生	4月～5月	学校保健安全法第2章第13条
職員定期健康診断	教職員、レジデント、研修医、非常勤職員	10月	労働安全衛生法第66条、労働安全衛生規則第44条、学校保健安全法第2章第15条
特定健康診断・特定保健指導	40歳以上の教職員	10月	高齢者の医療の確保に関する法律第20、24条
特定業務従事者健康診断	深夜業務に従事している者他	5月、10月 (6ヶ月毎)	労働安全衛生法第66条、労働安全衛生規則第45条
雇入時健康診断	雇入者	随時	労働安全衛生法第66条、労働安全衛生規則第43条
電離放射線健康診断	電離放射線業務に従事している者	4月、10月 (6ヶ月毎)	労働安全衛生法第66条、電離放射線障害防止規則第56条
有機溶剤・特定化学物質健康診断	有機溶剤、特定化学物質取扱者	5月、10月 (6ヶ月毎)	労働安全衛生法第66条、有機溶剤中毒予防規則第9条、特定化学物質等障害予防規則第39条
長時間労働者への面接指導	月45時間以上の時間外・休日勤務者	毎月	労働安全衛生法第66条
血液浄化センター・臨床工学室定期検診	血液浄化センター、臨床工学室職員	4月、9月	
QFT検査	雇入者、医学部・看護学部1年生、大学院1年生	4月、雇入時	
感染症抗体検査	雇入者、大学院1年生	4月、雇入時	
B、C型肝炎抗原抗体検査 B型肝炎ワクチン接種	教職員、学生	4月、6月、7月、12月	
インフルエンザワクチン接種	教職員、学生	11月	



## 東日本大震災復興を願って DVDのご購入およびご寄附に関するご報告と御礼

ひとつになりたいプロジェクト 実行委員会  
HP : <http://hitotuninaritai.web.fc2.com>  
大阪医科大学 内科学 I 教授 花房 俊昭  
大阪医科大学 5 年生 (学63期) 藤井 裕子

謹啓

春寒の候、大阪医科大学の皆様におかれましては、ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

私たち、[ひとつになりたいプロジェクト] は、大阪医科大学、関西医科大学を中心とした関西の大学生で、震災復興支援を趣旨とした合唱曲の収録を行い、被災地の子どもたちの心の支援を目的とした活動をおこなっております。

先日、皆様にご協力をお願い申し上げましたDVDのご購入およびご寄附に関して、以下の通りご報告させていただきます。寄贈の詳細に関しましては、ひとつになりたいプロジェクトのホームページでもご覧いただけます。皆様の温かいご支援・ご協力に深く御礼申し上げます。

謹白

### 記

大阪医科大学の皆様からの DVDご購入・ご寄附件数	計 33件
DVDご購入・ご寄附総額	計 160,500円
他方面からのDVDご購入・ご寄附を合わせた総額（経費を除く）	計 526,935円
-----	
平成24年11月21日、宮城県男鹿郡女川町立女川第二小学校 様へ	
・学校用オルガン 2台	
・譜面台 15台	
・ピアノ椅子 3台	計 494,025円
を寄贈させていただきました。	

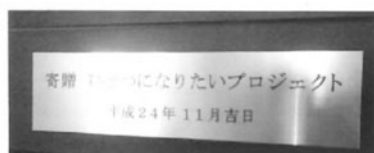
残額につきましては、「あしなが東北レインボーハウス」建設基金へ寄付させていただきます。

今後の活動と致しましては、平成25年3月頃に実行委員会のメンバーで、宮城県男鹿郡女川町立女川第二小学校様を訪問させていただき、今回の活動の経緯の説明、寄贈式、医学体験授業などをさせていただく方向で調整を進めております。

今後とも私たちの活動にご理解ご協力を賜りますよう、よろしく願いいたします。

この件に関するお問い合わせ先：ひとつになりたいプロジェクト 実行委員長  
大阪医科大学 5 年生 (学63期) 藤井 裕子  
TEL : 090-4648-8094 メールアドレス : [hitotsunianswer@hotmail.co.jp](mailto:hitotsunianswer@hotmail.co.jp)

# ひとつになりたい プロジェクトのみなさん



# ありがとうございました

<女川第二小学校よりいただいた御礼状（平成24年12月11日）>



## ◆大阪医科大学俳句会（十一・十二・一月）

大年の三年坂に一味買ふ

山崎隆司

終電を降りれば月の織きかな

同

地図になき大字小字しぐれけり

中川一成

寒月を残し暖簾を潜りける

同

國芳の美形や寒月眉きりり

吉田孝江

石狩鍋流木太き自在鉤

同

針先やひかりくもりの幾時雨

飯塚久子

一言神銀杏黄葉の二千年

同

黄葉映ゆゴンドラの拭くビルの窓

宮脇芳美

降る雪をみんな見てゐる小學校

同

ミサの鐘栗鼠は林檎を捧げ食ふ

寺田千代子

目で語ることも看取ぞ雪こんこ

同

凧一つ揚げて見守る三世代

羽根美恵子

母の忌につゞく父の忌葱太る

谷口文子

時雨る、や飛鳥に石の謎多き

同

## — 投句のお誘い —

一般の方も投句（何句でも）して下されば、  
当句会で会員の出句と同じように選句します。  
入選句は当欄に掲載します。

宛先は  
〒569-8686 高槻市大学町2-7  
大阪医科大学

俳句会

皆様の参加をお待ちしております。



## ● イルミネーション点灯式 ●

12月7日（金）、LDセンターにて第11回イルミネーション点灯式を行いました。

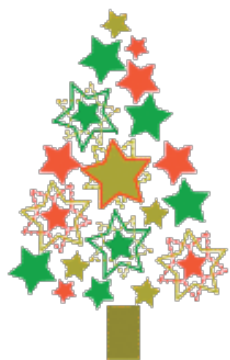
今年は11月ぐらいから急に寒くなり、点灯式当日も凍えながらの準備となりました。しかし、本番が始まると恒例の「つるちゃん」によるジャグリングでは、子どもたちが舞台にくぎづけで、舞台上での皿回しリレーではお皿を落とさないように真剣に棒を握っていました。

子どもたちのカウントダウンに合わせてイルミネーションが点灯すると、みんながきれいな光に見入っていました。玄関横のトナカイが今年から2頭になり、子どもをトナカイの横に立たせて記念撮影をするお母さんの姿がたくさん見られました。

小児ボランティア部の学生さんたちの舞台は、一昨年に引き続き「影絵クイズ」。最初は学生さんの影絵を見て答えていた子どもたちでしたが、前回同様「問題を出したい！」という子どもたちが列を作る事態となりました。ホールでの「気まぐれコンサート」は、例年のフルート・ピアノにバイオリンが加わり、美しい音色にたくさんの人が足を止めて聴き入っていました。

恒例のビンゴ大会では、いつもより小さなお子さんが多かったこともあり、親子そろって真剣にビンゴカードとにらめっこしていました。兄弟がもらったプレゼントを横目で見ながら、ビンゴが出ないことに不安そうな表情の子もいましたが、「みんなの分のプレゼントがあるよ」という励ましのことばに、最後まで我慢強くビンゴが出るのを待っていました。

短い時間でしたが、子どもたちは楽しいひと時を過ごして帰りました。



## ● 病院ボランティア活動のご紹介 ●

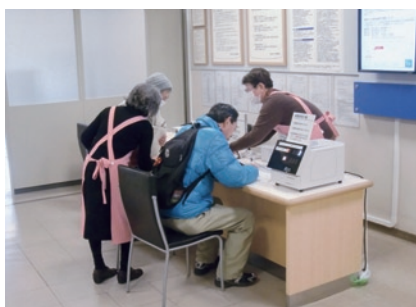
病院ボランティアグループ「ふれあい」活動中！

### 【初診案内ボランティア】

患者さまの中には、初めて訪れた病院で、「どこに行ったらいいか？」「誰に尋ねたらいいか？」わからず困っておられる方がいます。そんなとき、暖かい手が差し伸べられたらどんなにホッとすることでしょう。

本院のボランティアグループ「ふれあい」のスタッフは、スムーズに院内での目的が果たせるように初診申し込みのお手伝いや各診療科、検査室等へのご案内等をしております。ご案内した患者さまの緊張が少しでもほぐれて、笑顔で「ありがとう」と声かけして帰られることもあり、それが活動の励みになっています。

現在、初診案内ボランティアでは12名のスタッフが活動されており、これからも随時活動の幅を広げていこうと考えております。



### 【季節の飾りボランティア】



季節の飾りボランティアのクリスマスの作品です。ラウンジの患者さま図書の本棚の上に飾りつけています。院内のあちこちで大活躍です。



連絡先：大阪医科大学附属病院 広域医療連携センター 病院ボランティア担当 内線2515

表紙絵：水仙（にほん水仙）

別名“雪中花”という名のごとく、寒風吹きすさぶなか、甘い香りを放つ清楚な冬の花として愛されている。茎から数個の白い6弁花、中央黄色、葉は白緑で細長く、先端は鈍く、丸みをおびる。水辺にうつむき、自分の姿を映すように咲いているところから、水辺の仙人（水仙）と呼ばれる。温暖な海岸近くに生えている。群生地として、南房総、福井越前海岸、淡路島はよく知られているが、本来自生ではない。原産は地中海地方で、中国を経て日本（文献では、室町時代）に入ってきたことは間違いないが、いつ、どのような形で持ち込まれたか、諸説ある。

#### 個人情報の取扱について：

平成17年4月1日から個人情報保護法が施行されました。これに伴い本学では、学報の発送にかかる個人情報につきましては、個人情報保護法を遵守し、適切な管理を行っております。なお、収集・管理する個人情報につきましては、発送の目的以外に使用することはありません。学報に関する個人情報についてのお問い合わせは、下記までお願いいたします。

大阪医科大学 総合企画部 学報編集担当係 電話 072-683-1221代  
E-mail : gakuho@art.osaka-med.ac.jp

大阪医科大学学報 第95号

発行年月 平成25年2月

発行 学校法人 大阪医科大学

編集・発行 総合企画部

印刷 大日本印刷株式会社

大阪医科大学ホームページ

<http://www.osaka-med.ac.jp/>